

頼れる商社をめざして ～「困りごと」は私たちに～

昭和興産 創立80周年

昭和興産は本日5月30日で創立80周年を迎えた。1943年(昭和18年)の創立以来、合成樹脂、化学品の2事業を柱として展開し、直近の2023年度(12月期)を最終年度とする3カ年中期経営計画「SK-CHALLENGE 8」では、重点戦略分野として環境関連、情報・通信、メディカル・ヘルスケア、国内インフラ、モビリティの5テーマを設定し新ビジネスへの取り組みを強化している。20年後の創立100周年に向け新規ビジネスの育成や海外展開の拡大、社内体制の充実に尽力する田淵明雄会長兼社長に同社の現状と今後の展開を聞いた。(聞き手=佐藤豊化学工業日報社社長)



会長兼社長
田淵 明雄



interviewer

化学工業日報社社長
佐藤 豊

顧客に寄り添い海外へ

一創立80周年おめでとうございます。長い歳月を経てこれでしたがどのような感想をお持ちですか。

「過去を振り返りますと当社は従来国内でのビジネスが中心でした。しかし少子化とそれともなう労働力不足を背景にメーカーが海外に拠点を移すケースが増加したため、海外で活動を強化することを当社の使命と考え、この10年は国内での事業展開に加え中国を含む東南アジアでの拠点開設と現地での活動促進に努めてきました」

「当社が長年存続できている理由の一つとして、多くの社員がお客さまから愛されてきたことがあげられます。かつて石油販売を行っていた時も価格優先ではなく当社を選んでご購入下さるお客さまが数多くいらっしゃいました。これは当社の一言で言い尽くせない社風を評価していただけたからと考えています」

早期目標達成も道半ば

一現在遂行中の中計が今年で最終年度を迎えます。

「計画の目標については売り上げ、利益とも当初予定より1年早い22年度に達成できました。ただ数量面では満足いくものではなく、新規ビジネスもまだまだこれからでしょう。海外展開については、コロナ禍もあって中国やタイで思うような提案活動ができていない面もありましたが、インドネシアではお客さまの困りごとに対応するビジネスが功を奏し、半年度黒字化を達成するなど成果が現れつつあります」

行動基準10則

1. 信用を重んずる
2. 健全経営に徹する
3. 営業基盤を強化する
4. 情報活動に関心を持つ
5. 研究開発に力を入れる
6. 業務管理を厳正に行う
7. 人材の育成、開発につとめる
8. 求められる人間像
9. 美しい職場で規律を遵守する
10. 百年の計

広がる商圈、 環境への取り組みも

- 1943年5月 東京都文京区元町において工業薬品、油脂製品、燃料、断熱材などを販売する目的で創業
- 1950年5月 大阪営業所(現大阪支店)を開設
- 1952年10月 福井出張所(現福井営業グループ)を開設

国内拠点



1958年12月 名古屋出張所(現名古屋支店)を開設

1959年10月 札幌出張所(現北海道営業所)を開設

1960年～ 非鉄金属、建設資材、各種機械、雑貨類の取り扱いを開始

1967年4月 九州営業所を開設

1968年8月 港区赤坂に本社社屋を建設、移転

1980年4月 富山営業所(現富山営業グループ)を開設

1988年5月 北陸支店を開設

1990年4月 松本営業所を開設

1997年2月 タイに現地法人 Showa Kosan(Thailand) Co.,LTD. を設立

2003年12月 中国・上海に現地法人、昭和興産(上海)貿易有限公司を設立

2005年10月 ISO14001認証を取得(本社・名古屋支店)

2006年12月 売上高700億円突破

2007年4月 昭和興産グループ企業行動宣言を制定

2010年3月 ISO14001認証対象拠点に大阪支店を追加

2014年6月 インドネシア(ジャカルタ)にPT.SHOWAKOSAN INDONESIAを設立

2016年4月 中国・広州に昭和興産(上海)貿易有限公司広州弁事処(現広州分公司)を開設

2019年12月 昭和興産(タイランド)ホーチミン駐在員事務所を開設

2022年12月 売上高800億円突破

芽を出し始めた新事業

一新規ビジネスへの取り組みはいかがでしょうか。

「環境関連ではセルロースナノファイバーを当社の事業の柱とすべく専任のスタッフを付け10年にわたり取り組んでいます。引き続き製紙メーカー等と連携し、機能性や価格面での課題解決に努め市場開拓を進めていきます。また農業関連ではインドネシアで現地企業と組んだハーブビジネスが今年秋には芽が出る見通しとなりました」

「イスラエルのFlying Spark社との協業による昆虫原料ビジネスの育成にも注力します。当社の若手社員が中心となってさまざまな課題を乗り越えながら熱心にチャレンジを進めており、これが今後の当社のビジネススタイルになるのではと期待しているところです。Flying Spark社がタイに建設した工場が3月に稼働開始したため、近く本格的な販売活動へと移行します。企業活動においてSDGs(持続可能な開発目標)への取り組みが重視されるなか、この挑戦が食糧危機対策の一助になればと考えています」

一新規ビジネスを含め海外での活動が着実に進展していますね。

「19年末にはホーチミン市にベトナム駐在員事務所を開設しました。最終的には成長が著しいインドへの進出を計画していますが、まずはベトナム事務所の現地法人化について見極めを行っています」

皆が働きやすい環境を

一社員の採用と教育、女性の活躍支援にも力を入れています。

「職場満足度を調査するため昨年からエンゲージメントサーベイを始めました。教育面ではさまざまな社員がいるなかで多様性を尊重し、集合研修などの研修制度を充実することで社員同士で横のつながりを深めてもらいたい。また女性社員の活躍については働きやすい環境を整えていきます。営業として新卒採用した女性スタッフが出産後に復職されましたが、その社員に実際に働いてみて実感することなどの聞き取りを行うことで当社で営業を行う女性のスタイルを作っていきます。さらにこのほど中途採用した女性を管理職に登用したことに加え、子育てを行いつつ管理職になっていただきたい候補もおり、女性社員のロールモデルになってもらえればと考えています」

提案型でWIN-WIN

一20年後に創立100周年を迎えます。これに向け昭和興産をどのような会社にしていきますか。

「創業社長である岡良助が制定した『行動基準10則』(紙面に掲載)は現在でも生き続けており、今後も経営の指針として堅持していきます。これからの取り組みとしては、商材を右から左へと流通させる従来の商社のスタイルが廃れる状況において、当社がさまざまな提案を行うことでお客さまの困りごとを解決し、双方がWIN-WINのビジネスを構築できることを望んでいます。その実現には社員同士がお客さまが持つ課題を相談し合える体制が不可欠ですから、これまで以上に意思疎通しやすい風通しの良い会社とするための意識改革を進めていきます」



〒107-8452 東京都港区赤坂6丁目13番18号
TEL:03-3584-9111 FAX:03-3584-9555
URL:http://www.showakosan.co.jp